

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 3月 15日

事業所名 放課後等デイサービス ドリーム

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	1			指導訓練室は34平米あります。国の設備基準である児童一人当たり2.47㎡以上、集団活動が行えるよう、死角のない児童指導員の目が届く一つの空間で療育を行っております。
	2	職員の配置数は適切である	6				児童10人に対し児童発達支援管理責任者1名、保育士1名児童指導員3名という国の人員配置基準の人員配置を常に行い、児童分野での経験と専門性の備えたスタッフを配置しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	3			建物の構造上、玄関の入口以外はバリアフリー化しております。入口の改修は不可能であった為、今後必要時は玄関入り口にスロープを設置いたします。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	2	4			※正規PDCAサイクルを心がけ、支援前・支援後に職員間のミーティングを実施しております。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	1			通所支援事業利用者の保護者向け評価表による評価と公表を実施し、意向を把握し、改善に努めてまいります。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	1			令和3年度よりホームページでも評価と公表を実施し、保護者様にも会報にてお知らせさせて頂きます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	5			今年度もコロナ感染の懸念からできる限り外部の訪問を控えていました。5月からの新型コロナウイルス感染症の緩和状況も考えながら、実施していく方向性で改善、検討していきたいと思っております。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	1			職員のスキルの向上の為、毎月、研修を実施し各職員のキャリアパスに応じた研修を行っております。外部研修も取り入れて質の向上を目指したいと思います。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	1			利用に際して見学・体験時に保護者面談を行いニーズを把握したり、経過観察を記録し、個別支援計画を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	2			アセスメントシートを用いて状況を把握しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	2			課題内容や支援のあり方について毎月、ミーティングを行っております。消極的な職員も活動への発言ができるように改善をしていきたいと検討しております。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	1			個別活動、集団活動、工作活動、運動活動、学習活動、調理活動、野外活動など交替わりとなるようプログラム化しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6				療育課題を職員間で話し合い、平日に取り組める内容や休日に取り組める課題また、利用者の課題に沿った個別課題も踏まえて検討し計画を実施している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	1			保護者のニーズや利用者の発達に応じ、個別の課題と集団・適応・社会性の課題を支援計画に入れています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6				支援開始前にはミーティングを行い支援員それぞれの役割を明確化し支援課題の内容、目的など職員間で周知徹底をしています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	3			支援後も業務が多く、支援の振り返りを行うも深い話までできていないように思える為、引継ぎ内容の漏れがないように、経過観察記録や業務日誌に記録を行い、情報共有を行っていきたくと改善をもぎ取り組んでおります。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6				日々の様子を経過記録に残し、支援の検証、支援の改善につなげている。また、保護者様にも経過報告を行い課題ニーズなどを検討していきたいと思っております。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	1			6か月に1度、見直しを行っています。 ※必要性がある場合には、モニタリングを行い計画の見直しを行うようにしていきます。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	5	1			活動内容を明確化し具現化した支援を行っている。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	2		開催される担当者会議には児童発達支援管理責任者や管理者、担当者など、適任者を選任して出席しております。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	1		学校との情報共有を行う為に、学校迎え時には担任の先生からの引継ぎ内容等を聞くようにし、職員間の情報共有の連携にも努めています。また年間計画、行事予定、下校時刻表などを頂くようにしています。併せて学校のHP等も必ず確認をし不明点はその都度、確認を行うようにしています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	4		現在該当児童の在籍はありませんが、必要に応じて、主治医の指示書をもとに、緊急時の搬送先などの保護者との取り決めを行い連絡体制を整えます。また、職員間の周知徹底を行うように致します。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	3		※現在は該当児童(新一年生)の在籍はありませんが必要に応じて相談員とのやり取りやサービス担当者会議、各関係機関との情報交換を行っていきたくと思います。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	2		必要時は、情報の共有を行って行きたいと思います。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	5		必要時は相談に伺い、その都度アドバイスを受けております。また、今後、職員のスキルの向上を目指して研修の参加をしていきたいと思っています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		4	2	コロナ禍の為、交流は困難な状況ですが、今後は検討していきたい課題です。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		4	2	コロナ禍の為、支援員は利用者の安全を第一に考え外部との接触、必要以外の外出を自粛し徹底してきました。今後は安全を配慮しながら可能であればぜひ参加させていただきたいと思っています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	1		送迎の際に子どもの状況や課題について話をする機会を設けたり、必要に応じて個別に相談の時間も設けています。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	3		現在、ペアトレの保護者向け研修は行っておりませんが、面談や送迎時のフィードバックの際、対応などのアドバイスを少しずつ伝えるように心がけています。職員にはペアレント・トレーニングの知識を習得できるように研修の機会を設けています。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	1		契約時に説明を行っております。また、随時不明な点は職員が説明を行うようにしています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	1		送迎の際に子どもの状況や課題について話をする機会を設けたり、希望に応じて相談を受け付けています。また、定期的なモニタリング時に相談の時間を設けています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		3	3	今年度もコロナ禍の為、利用者の安全を考慮密になるような会や活動は自粛してきました。コロナの状況にもよりますが、今後は実施していく方向性で検討しています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	1		苦情においては体制の整備を行うと共に、保護者様や各関係機関にも情報の共有を図る為、周知を行うようにしています。相談や申し入れがあった場合、電話や面談にて迅速かつ適切に対応するよう努めています。苦情受付・解決担当者は重要事項説明書に記載し、契約時に説明しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	1		毎月のおたよりにて行事予定や連絡事項等の情報を発信しています。又、HPにて活動風景の発信も行っています。
	35	個人情報に十分注意している	6			個人情報に記載された書類は鍵付書庫に保管している。また、日ごろから職員にも個人情報の取り扱いについては十分に注意するよう周知し研修も行っています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	1		言葉と共にマカトンやカードを使うなど伝達方法を工夫したり、伝える方法を利用者や保護者に合わせるようにしています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		3	3	コロナ禍で招待することは利用者の安全上、困難ではありましたが、地域の方が主催している屋外活動は、子供の安全を配慮しながら参加させていただきましました。今年度も参加させて頂こうと思っております。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	3		マニュアルについて職員会議にて対応方法等の確認を行ったり、研修を行っております。保護者様には周知・訓練について十分でない部分もあるため、改善に努めます。マニュアルについても必要に応じて見直し等を行って改善に努めます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	1		年に2回、児童を含めた9月と3月に非常災害の訓練を行っております。今後は保護者を含めた訓練の実施が検討課題です。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	1		社内研修を実施しております。また、社内研修とは別に事例検討会などで職員の意識の向上に努めています。今後の課題として外部研修などに参加していきたいと思っています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	1		現在、該当児童の在籍はありませんが、必要時の身体拘束に関しては、利用者本人の生命や身体を保護するため緊急を要する場合に、切迫性・非代替性・一時性であることを条件に行うことを職員の共通認識とし、行った場合は記録に残すようにし、また保護者にはそれらを契約書に記載し説明いたします。*個別支援計画に記載します。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		6		現在該当児童の在籍はありませんが、必要に応じて服薬・投薬・緊急搬送先などの取り決めを保護者と行い、医師にも確認して対応していきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	1		危険な事例があった場合、毎月ヒヤリハットの報告書に記載し、それらを基に、毎月会議を通して職員で共有し支援の改善に努めています。